

令和3年石橋北小学校 学校運営協議会議事録

令和3年5月14日（金）10:00

於 校長室

【本日参加者】13名

・学校運営協議会委員（10名）

大塩宗里 國枝 勝 野口利男 折原利吉 齋藤幸紀

竹内美千子 牧野由佳 坂本美保校長 安野和美地域連携教員

・地域学校協働活動推進員 西本由利子

・下野市教育委員会 学校教育課 指導主事 松川博美

・事務局 金久保貴子教頭 増淵敦子教務主任

・欠席委員 青柳庄一

開会

○任命書交付

1 校長あいさつ

2 自己紹介

3 会長選出・組織

会長 大塩宗里

副会長 野口利男

環境整備支援部 牧野由佳 齋藤幸紀

学習支援部 青柳庄一 大塩宗里 安野和美

図書活動支援部 竹内美千子

防犯支援部 折原利吉 國枝 勝

会長

・昨日若林北の老人会を開催した際、児童の「見守り隊」として協力していただくという話になった。

4 協議内容等（進行・・・会長）

校長

（1）石橋北小学校 学校運営協議会運営規程について

・規程の確認（資料もとに説明）

・北小の運営規程は、下野市学校運営協議会運営マニュアルに基づいて作られている。

（目的）：地域・家庭と学校との双方向の関係で、「地域とともにある学校」づくりをめざしていく。

会長

・第3条について・・・地域・家庭及び学校が目標やビジョンを共有し、とある。我々は、スタートは、評議員だった。途中から、協議員という形に変わったと思う。つまり、学校と一体となってということである。そのためには、目標ビジョンを共有することであって、決して批判をする組織ではないということを確認しておきたいと思う。また、（役割）のところでは、教育目標及び学校経営計画に関することが記載されている。当初は、学校経営にまで入っていくのかと驚いたが、委員は、学校と一体となって、目標を共有しながらという形で学校経営計画に参加すればいいのではないかと思う。また、教育課程の編成に関することまで入っている。これは、学校の先生でなければ具体的などころ

は分からないことがたくさんあるので、委員として、協力していきたい。

・委員が実力を発揮できるのは、学校と保護者・地域と連携を図り協力するところだと思う。学校が要求するものには、できる限り協力していきたい。

## (2) 石北小の教育について(学校概要、経営方針)

校長

・学校経営全体構想は、学校経営の概要を図式化したものである。  
・学校経営の概要について、4の地域及び児童の実態については、昨年の学校評価を踏まえて書いてある。

(以下、パワーポイントの映像を基に説明)

- ・【学校目標】：○心豊かな子 ○進んで学ぶ子 ○健康でたくましい子
  
- ・【めざす児童像】：○豊かな心をもち助け合う子とも  
○自ら考え進んで学ぶ子ども  
○明るく健康でたくまし子ども
  
- ・【重点目標】：  
○基本的な生活習慣や規範意識を育てると共に、自己有用感や社会性を醸成し豊かな心を育てる。  
○学びに向かう力の向上を図り、知識・技能を習得し、様々な状況に対応できる思考力・判断力・表現力を育成することによって、確かな学力を育てる。  
○体力の向上と健康安全の保持増進を図り、健やかな体をつくる。
  
- ・【学級数、児童数についての推移】：このところ1～2学級である。今年度は、昨年より11名減り、213名スタート。通常学級9学級。特別支援学級2学級。計11学級。3・4・6年生が2学級である。
  
- ・【職員】：職員数24名。低学年支援1名配置。現在2年生35名で、あと1名で2学級になる。養護教諭1名。講師2名は、育休中の教諭のためである。SSS(スクールサポートスタッフ)は、昨年度のコロナ対応で配置された。今年度は、5月から、週4日間勤務で消毒や印刷を中心に行っている。市の職員として、公仕、生活支援員が配置。本校職員は、子どものために何ができるかを考え教育活動を進めている。
  
- ・【学校経営方針】：基本方針として、「認め合い、励まし合い、助け合う学級を基盤とした学校作り」に努める。学級を基盤として、その学級の集合体が学校である。  
・1「心の教育の充実」2「確かな学力の定着」3「粘り強く取り組む力の育成」、そして、4番目として「信頼される学校づくり」の推進。地域の土台の上に3つを取り組んでいくという考え方である。  
1「心の教育」：子どもたちの3A運動の推進(あいさつ・相手の気持ちを考えて・あきらめない)。教師の3A(あせらない・あきらめない・あなどらない)。  
①あいさつ運動：日常の取組と小中一貫教育の取組として、石中生との交流を実施。  
②全校遠足：レインボー班(縦割り班活動)の取組として、例年秋に行っているが、今年度は、1年生を迎える会を兼ねて4月に実施した。行事を通して、高学年の活躍と毎年の活動の積み重ねが、児童の成長に繋がっている。今年度は、ソーシャルディスタンスを考慮した計画と活動の実施だったが、

児童の頑張る姿がたくさん見られた。特に、話をしないでお弁当を食べる姿は、日頃の給食指導が生かされていて立派であった。是非、児童の頑張りを見てもらいたい。

③田植え：今年も地域の小川さんの田んぼを借りて田植えを実施。6年生が1年生に優しく接する姿など、心の成長を感じる場面が見られた。

④花壇作り：環境委員、各学級で活動を進めている。

⑤昨年度の10月の創立40周年記念式典：子どものアイデアを生かすことができた。限られた時間と制限の中で、児童も教師も全力で取り組めた。保護者の方にもご協力いただいた。

⑥ふくべ細工：2月に、委員の青柳さんの協力で、3年生がふくべ細工を教えていただいた。

## 2 「確かな学力の充実」

①タブレットの導入：本校は、早い時期からタブレットを活用した授業を行ってきた。今年度から、一人一台導入。

②TT：担任が授業を進め、TTとして、子どもたちの指導に当たっている。

③学習意欲を高める主体的な学び：子どもたちの話し合いや、学び合いのよさを生かした授業に取り組んでいる。

④GIGAスクール構想を目指して：タブレットを活用した授業。教科や学習の切り替えがスムーズである。発展的な学習に広がる。

⑤「新聞の日」の取組：今年度は、5回実施の予定。下野市児童全員に配布。児童が新聞に興味をもち、新聞に触れることを大きな目的として進めている。

## 3 「粘り強く取り組む力の育成」

①持久走記録会：昨年は、12月から1月に時期をずらしたことで、練習もたくさんできた。

②あせの日：保護者と一緒に活動している行事である。1回目の活動は、縦割り班で除草活動を実施。

③スポーツタイム：業間活動を利用して、長縄や体力づくりなどを行っている。

④食育の授業：他校の栄養教諭が来校し、朝ご飯の大切さなど食育に関する授業を行っている。

## 4 「信頼される学校づくり」

①スクールガードボランティアの協力：毎日児童の登下校を見守っている方々の協力で支えられている。昨年度、花育活動で作った花束を子どもたちが贈呈した。

②引き渡し訓練

③避難訓練

④廃品回収

⑤職員の研修：外部講師を招いての研修会を実施。

### ・今年度の取組

①新任式、始業式を校庭で実施。

②学級開きの工夫

③担任とALTの連携による外国語活動の時間。

④授業参観：3地区に分けて、3時間実施。

⑤交通安全教室：4月に1～3年生は、道路の歩き方について。4～6年生は、自転車の乗り方について実施。

⑥避難訓練：1回目は、火災による避難と非常扉を通る練習を実施。

⑦あせの日：1回目は、縦割り班による校庭除草を実施。

⑧全校遠足：5月7日に、壬生わんぱく公園で実施。

・【学校評価】：学校の実際の実施についての評価については、学校目標の具体策について、評価規準を基に、12月に児童、保護者、教職員が実施する。2月の運営協議会にその結果を報告し、協議していただく。

会長

(3) 質疑

- ・校長の説明を聞いて、全体を見通した質疑で進めていきたい。
- ・全校遠足のソーシャルディスタンスを考慮したお弁当風景を見て、大人も反省しなければいけない。
- ・入学式の様子は、ケーブルテレビで視聴し、大変立派な態度で素晴らしかった。

委員

- ・昨年度の一斉休業で、子どもたちの生活が心配だったが、知恵を出して、従来と変わらない教育ができていて、充実していることが分かった。

会長

- ・学校教育目標が3つある。その他に、学校経営全体構想図の一番下に、「信頼される学校づくり」の推進が書かれている。学校経営方針に沿った具体策として位置付けられているのだと校長の説明で納得した。

校長

- ・「信頼される学校づくり」が、学校経営の土台になるという考えである。

教諭

- ・地域連携ということで、昨年度はできない活動もあったが、今年度は、委員さんに教えていただきながら進めていきたい。
- ・防犯支援部では、スクールガードボランティアの活動の充実で大変お世話になっている。今年度は、学校の方から募集を呼びかけている。現在、若干名増えているところである。ベストも配布する予定である。課題もあるので、今後よい案を教えていただきたい。

委員

- ・2年生が35名で、2クラスになるには、ぎりぎり残念である。本校は、いつも、その話題になる学校である。

委員

- ・今後、下野市にスマートインターチェンジができる予定である。学区内ということで、交通量が増え、車の流れも変わってくることが予想される。交通量が多くなる場所には、交通指導員の配置などもお願いしたい。

会長

- ・状況が早めに分かれば、通学路の見直しや児童指導について考えていかなければならない。

委員

- ・計画は進んでいるが、時期はまだ未定である。

委員

- ・工事が始まると、通学路の見直しを考えなければならない。

委員

- ・次年度以降になるのではないか。それに伴って市役所と学校で連携を図っていく必要がある。

会長

- ・情報が入り次第、教えていただきたい。

|      |  |
|------|--|
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営方針や北小の取組についての説明を聞き、学校の様子がよくわかった。今後は、積極的に学校に協力していきたい。</li> </ul>  |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策を行いながら、先生方が工夫して学校教育に取り組んでいることに感謝している。暑い季節に入るので、マスク使用の登下校も大変である。検討しながら更なる感染対策に努めてほしい。</li> </ul>   |
| 会長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の先生方は、子どもたちに要求するばかりでなく、教師の3A運動を展開している。</li> </ul>  |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で、コロナ感染が出た場合の対応について教えてほしい。また、マニュアルがあるのか。</li> </ul>  |
| 校長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下野市からの指導がある。また、感染した児童が出た場合は、その児童がどのような関わり（いつ、どのように、誰と接していたか。）を調べた上で、休校になるか判断する。学級、学年、学校全体になるかは、児童の関わりが重要になってくる。</li> <li>・現在、PCR検査を受けた場合は、市に報告することになっている。</li> </ul>   |
| 会長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他でも休校という状況が出ている。</li> </ul>  |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・休校の最終判断は、校長になるのか。教育委員会になるのか。市長になるのか。</li> </ul>  |
| 校長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会と相談して指導を受けながら、最終判断は校長になる。</li> </ul>  |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生の保護者として、給食中の会話について尋ねたところ、食事中の会話はしていないということを知り、大人が諭された。学校の指導の徹底を改めて理解した。</li> </ul>  |
| 会長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞を教材にするとあったが、新聞の社説欄には、各新聞社の独自の考えが入ってくるので指導が大変かと思う。また、新聞の取扱は難しいと思う。</li> </ul>   |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近、新聞を取らない家庭も増えている。</li> </ul>   |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞を取らなくても携帯電話に情報が入って来る。社会情勢を知るのに携帯で済んでしまっている。</li> </ul>   |
| 校長   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新聞の日」についての取組は、授業の中ではなく、朝の自習の時間等を利用して行っている。読むことが目的ではなく、写真や自分が興味をもった記事から入り、新聞に興味をもつという目的から始まったものである。新聞に触れる機会がない児童も多い。授業では、新聞の作りについて理解したり、実際に新聞を作ったりする内容で進めている。「新聞の日」の新聞は、子どもが興味をもつような記事も含まれているようで、気に入った記事を切り取ったり、貼ったりして楽しく取り組んでいる。</li> </ul> |
| 指導主事 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は、低学年児童には、何回か子ども新聞を配布している。内容というより、興味がある写真や見出しから新聞に触れることが目的である。</li> </ul>   |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞はそれぞれ個性がある。一緒なのは、天気予報と日付けだけである。そ</li> </ul>  |

れ以外のものは、新聞によって記事の内容が変わってしまう。

- 委員
- ・新聞もSNSも、どれも情報が偏ってしまう。
- 委員
- ・360度どこから見るか。一つの事実をいろんな角度から見なければいけない。本人が意識しないと情報は偏ってしまう。
- 委員
- ・本人の意識に関しては、学校の教育で教えることか。家庭で教えることか。その辺りが難しい。
- 推進員
- ・話題は変わるが、公民館では、コロナ対策を講じている。どんなに気を付けていても、コロナ感染にかかってしまうのが現状である。シトラスリボンがあるように、私たちは、誹謗中傷をしないように気を付けなければならない。その後の心のケアも地域の皆さんの温かい気持ちが大事である。地域力を大切にしていだだきたいと思う。
- 会長
- ・議事録の公開はあるのか。
- 校長
- ・学校のホームページにも議事録を公開する。名前は、公開しない。
- 教諭
- ・地域連携だよりの中で、本日の会議について、委員さんの名前を載せてもいいのか。
- 指導主事
- ・市としては、委員さんの名前を公開してほしい。地域の方に、学校運営協議会の理解を得るためにも、また、新たな人の広がりができるためにも名前を公開してほしい。
- 会長
- ・名前の公表について承認していただけるか。
- 全委員
- ・承認
- 校長
- ・学校のホームページにも名前を載せる。
- 会長
- (4) 承認
- ・(1)(2)について承認していただけるか。
- 全委員
- ・承認
- 閉会
- 教諭
- 事務連絡 → 主な行事予定は別紙資料のとおり。
- 教頭
- 次回の予定
- ・第2回：11月26日(金)授業参観、協議、給食試食会→状況によって検討)
  - ・第3回：2月15日(火)ボランティアの反省会も同日に実施、協議会で報告できるとよい。
- その他
- ・運営協議会の運営報酬についての連絡